



猛暑でペットも情緒不安定に？ 7月以後の咬傷急増 上海市

澎湃新聞

www.thepaper.cn 2017-07-22

09:06

来源：澎湃新聞

ペットでも情緒不安定になるのか？

高温の季節に入り、澎湃新聞（www.thepaper.cn）記者は、**07月21日**、上海にある咬傷外来を備えている多数の医療機構から、7月以後、咬傷による外来患者数が上昇しており、特に週末の土・日曜に受診する人がピークを迎えており、**6月と比べるといずれも10～20%の増加を示していることが判った。**

疾病管理の専門家の多くは、ペットに咬まれたら、ワクチン接種は早ければ早いほどよいという。

ある病院ではイヌによる傷での外来が1日110人に

浦東新区最大のイヌ咬傷外来病院である浦南医院の救急外来を例にとれば、毎日の外来は**250人**前後に達しており、最高では**290人**を突破、連日、イヌに咬まれたとして来院する初診患者数は**90人**、最多時では**110人**に達している。これは昨年同期と比較すると**10～15%増**となっている。

外高橋地区にある上海市第七人民医院イヌ咬傷外来受診者数は、**6月と比べて5%以上の増加**。周浦医院イヌ咬傷外来受診者数も先月より明確な増加を示しており、一日のイヌによる咬傷患者数は**93人**に達し、この一週間ですでに**608人**に達している。

診察された人々の中では、家の中にいるペットのイヌやネコによる咬傷を負った患者が多くいたが、軽微なもので、咬まれた部位は手足が多く、顔やほほ、身体などの部位における咬傷は比較的少ない。家の飼い猫や飼い犬以外では、居住地区内のペットによる咬傷の比率も高くなっているものの野良猫野良犬による咬傷はあまり多くないという。

「患者は主に、老人と子供で、男性が女性に比べ多かった。」浦南医院の救急外来科の蔣兆華主任は、澎湃新聞の記者に、「毎年**7～10月**は、一年を通してイヌ咬傷外来の受診者数が一番多くなるシーズンであるが、一にこの季節は衣類が相対的に露出しており、ここに高温の日が続きペットを情緒不安定なイライラ状態にしてしまうため、ヒトに傷をおわせるのだ」と語る。

蔣兆華主任は、さらに分析をし、多くの家庭では、特に老人は高温でもエアコンをつけないことで、家の中で飼育されているペットが『暑気あたりによる情緒不安定』となり、主が来たときに、ペットが襲い掛かり、ヒトを咬んだり、引っかいたりして、この類の人が診察に来ることが多い。もう一つの状況は、ペットを連れて外出する際に、リードや首輪やハーネス、マスクもつけていないことで路上のヒトに噛みつく事態を招くということがある。

咬まれてしまったらすぐに傷口を宣城市、ワクチン接種を

最近、あるメディアは：本年**05月06日**、上海市の閔行区江川街道で**38歳**の男性がペットのイヌに腕を咬まれ、清浄と消毒はしたものの発症前に速やかに狂犬病のワクチンを接種していなかったために**07月18日未明に死亡**したと報じた。

上海市第七人民医院救急外来の吳昊副主任は、**95%前後**のヒトは、咬まれた後すぐに病院を受診するが、**3～5日**後になって受診をするヒトもいるが、酷い場合には一週間以上経ってから受診をするものもいると語った。

咬まれた後どのくらいで狂犬病のワクチンを接種すべきかについて、多くの疾病管理の専門家は、『早ければ早いほどよい』という。上海市疾病管理センターの専門家は、狂犬病は一旦発症してしまうとその進展速度が極めて速く、ほぼ**100%**の患者は**3～5日**以内に死亡する、と語った。

ヒトを咬んだペットのワクチン接種の有無や傷口からの出血の有無を問わず、万一咬まれた場合には直ちに狂犬病ワクチンを接種すべきだ。狂犬病には潜伏期があり、一般に、**2～3週間**とされているが、極めて稀に数年になることもある（宮本注：**2011年5月**には、**ネコに咬まれた女性が18年後に狂犬病を発症し、死亡しています**）。上海では、これまでに、正規のイヌ咬傷外来を受診した患者や狂犬病のワクチン接種者が狂犬病を発症したという事例は報告されていない。

多くの救急外来医たちは、咬まれたら、指を食いちぎられたことを家で咎めあっている間も潜伏期に含まれるので、そんなことを（して時間を浪費）するよりも、直ちにイヌ傷の外来を受診して正規の傷口処理をする方がよい。イヌに咬まれた後は、先ず石鹼若しくは弱アルカリ性の洗浄剤を使い一定の水圧がかかっている流水で紙傷と引っ掻き傷を交互に**15分以上**洗い流し、最後に傷口のせっけん液やその他の洗浄

剂的残留がないように生理食塩水で洗浄せねばならない。徹底的に洗浄した後には、希釈ヨードなどを用いて傷口への塗布或いは傷口内部の消毒をする。

編集責任：徐曉陽

Recent High Temperature Make Pets "Irritated Heat Stroke" and Bite Peoples, Shanghai's Dog Outpatient Volume Increasing in July

Pengpai news www.the paper.cn 2017-07-22 09:06 Source: Pengpai news

Will pet(s) be irritated by "heat stroke"?

On July 21, 2017, Penghai News reporter got information from many hospitals who have Dog Outpatient Department that their outpatients are increasing from this July onward. Especially in weekends they have the peak of outpatients, every outpatient department got incresion of 10 to 15% when compared to June.

Many experts of disease control said when a people are bitten by their pet(s), the vaccination is "the sooner, the better".

<Skipped the rest part of this article>

http://www.thepaper.cn/newsDetail_forward_1739160

..... 以下是中国語原文

高温天宠物易“情绪中暑”咬人，上海7月以来犬伤门诊量上升

澎湃新闻 www.thepaper.cn 2017-07-22 09:06 来源：澎湃新闻

宠物也会“情绪中暑”？

时下正值高温季节，澎湃新闻(www.thepaper.cn)记者7月21日从上海多家具有犬伤门诊的医疗机构获悉，7月以来犬伤门诊普遍就诊人数上升，尤其是双休日会出现就诊高峰，较6月普遍增幅在10%-20%。

多名疾控专家表示，被宠物咬伤后，接种疫苗越早越好。

有医院犬伤门诊一天接待110人

以浦东新区最大犬伤门诊—浦南医院急诊为例，每日就诊人数达到250人左右，最高一天甚至突破290人，连日来每天犬伤门诊的初诊人数90人，最高时可以达到110人。较去年同期增长10-15%。

位于外高桥地区的上海市第七人民医院犬伤门诊就诊人次，较6月也有5%以上的增幅。周浦医院犬伤门诊也较上个月增长明显，一天犬伤病人达到93人，近一周数量已达608人。

就诊人群中，被家中的宠物狗、猫咬伤的居多，轻微伤为主，咬伤部位集中在手脚处，面颊、身体部位咬伤的比例较少。除家里的宠物猫狗，就诊者被小区内宠物咬伤的比例也较高，但被流浪猫狗咬伤的比例不多。

“主要病人是老年人和小孩，男性比女性多。”浦南医院急诊科主任蒋兆华告诉澎湃新闻记者，“每年的7-10月都是一年中犬伤门诊就诊量最高的一季度，一是因为这一季度穿着相对暴露，再加高温天宠物也会出现情绪上的烦躁不安，导致伤人。”

蒋兆华进一步分析，很多家庭尤其是老年人高温天在家不开空调，被关在家中的宠物容易因为“心绪中暑”而烦躁不安，主人一回家后狗狗就会猛扑上来，稍有不慎就会被抓或咬伤，这类就诊人群出现不少。另一种情况是，有的居民出去遛狗时，既没有带好绳子牵好狗，更没有给狗带狗罩，也常会咬伤路人。

被咬后立即清洗伤口、接种疫苗

近日有媒体报道：今年5月6日，上海闵行区江川街道一名38岁男子被一只宠物犬咬伤手臂后做了清洗、消毒，但在发病前未及时接种狂犬疫苗，于7月18日凌晨死亡。

上海市第七人民医院急诊科副主任吴昊告诉记者，95%左右的人群还是会在被咬后立即就医，也有人拖了3-5天来就诊，甚至拖一周以上来就诊的也有一些。

对于被咬后多久接种狂犬疫苗，多名疾控专家表示“越早越好”。上海市疾控中心专家表示，狂犬病一旦发病，其进展速度很快，几乎100%的病人会在3-5天内死亡。不管被咬的宠物是否接种过疫苗，伤口是否出血，一旦被咬后均需立即接种狂犬疫苗。狂犬病有潜伏期，一般为2-3周，极少数病例可长达数年。目前在上海，至今尚未报告过在正规的犬伤门诊、全程接种完狂犬病疫苗后发病的病例。

多名急诊医生表示，被咬伤后与其在家里掰着手指头算潜伏期，不如赶紧去犬伤门诊接受正规的伤口处理。被咬后需要在第一时间要做好伤口清洗消毒，如用肥皂水或其他弱碱性清洗剂 and 一定压力的流动清水交替清洗咬伤和抓伤的每处伤口，时间至少15分钟，最后用生理盐水冲洗伤口以避免肥皂液或其他清洗剂残留。彻底冲洗后，如果

条件允许可用稀碘伏等消毒涂擦或消毒伤口内部。

责任编辑：徐晓阳

20170722A 猛暑でペットも情緒不安定に？ 7月以後の咬傷急増 上海市(澎湃新闻)